

うすだ 薄田さとし

後援会だより 第71号

2025年1月1日発行 第71号

発行責任者 : 薄田さとし後援会

後援会長 : 瀬賀 和之

発行所 : 薄田さとし後援会事務所

住所 : 胎内市倉敷町2番28号

TEL: 0254-44-7500

報告内容

- 新年のご挨拶
- 市政トピックス
- 写真で振り返るこの一年



新年のご挨拶

謹賀新年

明けましておめでとうございます。

後援会の皆様ならびにご家族の皆様におかれましては、新年を迎えますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より薄田さとし並びに後援会に対しまして多くのご指導とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昭和、平成、令和と元号が変わってきましたが、今年は昭和で言うと丁度100年目ということですが、昭和36年生まれの私は $100 - 36 = 64$ 歳となるわけで非常に分かりやすいと思っております。また、日本の人口比率で言うとおよそ昭和生まれ70%、平成生まれ25%、令和生まれ5%と言われております。年頭にあたり、まだまだ我々昭和世代が元気を出し、頑張ることを再認識した次第です。

胎内市は本年9月1日に市政施行20周年の節目を迎えることになりました。合併してからもう20年が経つのか、あつと言う間だと言うのが正直な気持ちです。私は合併して1年後、組織内議員として胎内市議会に入り胎内市のまちづくりに参画させて頂きました。特に企業に働く議員として、中小企業への支援や教育・人づくり、さらには市議会と市民とのコミュニケーションに重点をおいた政策を提案し実現に向けて活動して参りました。今後もこのスタンスを続けたいと思います。

去年は、総選挙が行われました。結果はご存知の通り自公が過半数割れとなりましたが、引き続き少数与党として政権を担っていくことになりました。私が所属している国民民主党は今回の改選で衆議院議員数が7人から28人と実に4倍になりました。今回の選挙で国民の皆様にご約束した①対決より解決②給料を上げる③手取りを増やすこの3つの約束を第一に少数与党と是々非々で議論した中で結論を出し、責任を果たしていかなければならないと思っております。

また、日本の将来を真剣に考える時期に来ていると考えております。中長期的な視点に立って、少子高齢化や人口減少、さらには地方の地域経済をどう活性化させていくか、特に今後の地方の持続可能なまちづくりを進めるうえで厳しい財政運営をどう支援していただけるか国政におおいに期待したいと考えております。



新潟食料農業大学での意見交換会

今年の胎内市議会は今まで以上に市民に開かれた議会を目指し、市民、団体、企業、学生、生徒などの皆様とコミュニケーションを取る活動を展開して参ります。皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

結びになりますが、今年一年の後援会の皆様ならびにご家族の益々のご清祥とご多幸を心からご祈念申し上げます。引き続きのご支援とご協力をお願い致しまして新年の挨拶とさせていただきます。

胎内市議会議員

薄田 さとし

市政トピックス

第四回定例議会(2024.12.3~12.20)

◎ 一般質問に立つ

※原稿締切りの関係で市長答弁が掲載できませんでした。内容は YouTube 動画で確認できますのでご覧ください。 <https://www.youtube.com/watch?v=tFMjpApPUas&t=2328s>



12/18 一般質問に立つ

◆ 市内道路インフラ整備について

我々が生活する上で必要不可欠なインフラの一つが道路です。市内の道路や橋梁は車社会の進展とともに安全や効率を優先しながら整備や管理を実施してきました。今後も市民が安心して安全に道路を利用できるような視点で整備や維持管理していくことが求められています。今後の市内道路のインフラ整備について市長に伺いました。



【質問要旨】

1. 市の道路整備の基本的な考え方としてどのような選定基準で整備や維持管理をしているのか。
2. 産業道路沿線の JR 踏切は中条駅からクラレ前踏切まで 5ヶ所ありますが、車の通行の優先順位が明確でなく危険で、事故も多発しているとの指摘を市民から頂きます。踏切付近の交差点事故防止対策の現状認識と改善策について。
3. 交通渋滞の緩和と解消についてウオロク中条店が野中に移転して 3 年半になりますが、ウオロク中条店付近の県道 1 7 3 号中条乙線における夕方の渋滞についての現状認識と関係機関へ改善を求めるべきと思うが、また国道 7 号線から市役所方面に進み、ちの医院の信号を右折することは厳しい状況です。あわせて、改善について。
4. 市内歩道の整備について中条小学校の通学路の歩道新設、築地地区の歩道に樹木がせり出し通行できない、県道 3 1 4 号笹口浜線の歩道に防犯灯が無い、歩道に雑草等が繁茂して通行できない等、歩道に関して市民から多数の改善要望が寄せられています。今後の整備の考え方について。
5. 冬期間の除雪について費用対効果により今後の除雪は消雪パイプでの除雪は行わず、機械除雪にシフトする方針が出されていることと認識しているが、特に住宅が密集している若松町や住吉町・あかね町から機械除雪が非常に悪いし、除雪した雪を排雪するところが無いとの要望を多く受けまます。今後の改善策について。

◆ 道の駅「胎内」について

本市の道の駅「胎内」は平成 6 年 4 月に胎内観音、クアハウスたいない、樽ヶ橋遊園の中心として観光案内を行って参りました。その後、平成 2 2 年 3 月に財団法人日本宝くじ協会から助成を頂き、現在のたるが橋観光交流センターが建設され、本市の観光の拠点として特産品の販売や観光情報を発信しています。

我が緑風会では今年 1 0 月に青森市の道の駅「なみおか」を視察しました。2 0 2 2 年じゃらん全国道の駅満足度ランキングで 1, 0 5 7 ヶ所中 5 位にランキングされました。もちろん東北地域では 1 位の道の駅となっています。視察を踏まえ今後の本市の道の駅「胎内」について市長と教育長に伺いました。



【質問要旨】

1. 道の駅「胎内」の目指す方向性について
 - ①観光拠点として目指す方向性と、今後の設備等の整備計画について
 - ②現状の入込数、売上高、収支実績と今後の計画について
 - ③閑散期(冬季)における集客対策について
2. 多機能型の道の駅としての今後の取り組みについて
 - ①地元農家と連携した地場農産品や、特産品の販売計画について
 - ②地元企業や大学と連携しての商品開発や、ここでしか味わえないサービスや商品販売について
 - ③集客にはレストランや喫茶などの併設が不可欠と考えますが、今後の計画について
3. 樽ヶ橋近隣施設の利用促進と、市内学校と連携した取り組みについて
 - ①樽ヶ橋遊園、クアハウスたいない、胎内市美術館、越後胎内観音、福祉交流センター有楽荘（誠食堂）、黒川郷土文化伝習館の連携利用割引、市民やシルバー利用、さらに家族連れ割引の検討について
 - ②各施設の利用ポイントカードを発行してのスタンプラリー企画などについて
 - ③小・中学校と連携し、地元施設学習の一環としての積極的な現場授業の場としての活用について

◆市政施行20周年事業について

来年9月で胎内市市制施行20周年を迎えます。節目としてのお祝いイベントと、今後さらに30周年、50周年に向けての取り組みについて市長に伺いました。

【質問要旨】

1. 20周年をお祝いしての記念行事等の計画について
2. 今後さらに30周年、50周年に向けて、胎内市への愛着やふるさと胎内としての誇りを深めていくことがまちづくりとして必要と思うが、市長の考えについて

後援会長新年のご挨拶

日頃より薄田さとし後援会にご支援、ご協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。

現在、世界では、紛争や多様な価値観での対立などがあり、また日本では物価高や政治への不信感などの課題があります。そして、この胎内市でも、少子高齢化や人口減少、生活環境・防災・交通、子育て・教育など、様々な課題が山積しています。

こうした課題を解決するためには、強いリーダーシップで物事を前に進める政治家が必要とされます。薄田市議には、後援会の皆様の声を聞きながら、私たちが安心して働き暮らせる胎内市の実現のために、様々な課題に対して獅子奮迅の活躍を期待します。

その活躍を支えるために、後援会の皆様と胎内市の未来を熱く語り合いながら、後援会活動を共に進めて参りたいと思います。

結びに、後援会の皆様とご家族のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、併せて薄田市議ならびに後援会へのご意見・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。



薄田さとし後援会 会長

瀬賀 和之

写真で振り返るこの一年



1/26 花角知事へ要望書



3/6 会派代表質問に立つ



3/10 国民民主党県連定期大会



4/6 クラレ桜まつり



6/8 UA ゼンセン全国議員団会議



9/23 武道祭



10/19 UA ゼンセン定時総会



10/24 会派視察(青森)



11/19 支部定期大会



11/30 OB 会新潟支部忘年会



12/6 K 友会市政報告会



12/9 市長へ連合胎内要望書を提出

本年もみなさまのご支援をよろしくおねがひします!!

